

令和2年度西成区運営方針の取組み 及び今後に向けて

令和2年度第1回西成特区構想部会

令和2年8月6日



令和2年度 西成区運営方針

西成区の目標（何をめざすのか）

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、だれもが笑顔にあふれ、安心安全に暮らすことができるまちの実現をめざす。

西成区の使命（どのような役割を担うのか）

地域住民等との連携・協働のもと、区長自らの権限・責任において、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。また、多様な区民の意見やニーズを把握し、区政への区民の参画など、地域と一体となって様々な施策を展開していく。

令和2年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えている。それらを解決するため「1 子どもに寄り添った支援と子育てしやすいと実感できるまち」「2 活気にあふれ、誰もが歩きたくなる楽しいまち、豊かに自分らしく健康に生活できるまち」「3 災害に強いまち、犯罪が起こりにくく、安心安全に暮らせるまち」「4 官と民が協働して取り組み、あいりん地域が抱える様々な課題を解決し、安心して暮らすことができるまち」に向けた施策や支援などを重点的に取り組んでいく。西成特区構想については、引き続き人的資源や地域資源を活かして、にぎわい創出と再チャレンジ可能なまちの実現をめざした取組みを推進する。さらに、子育て支援の充実や重大な児童虐待ゼロに向けて区の特性に応じ、一層の対策を進めていく。

また、区民にとって身近で親しみやすい区政運営を推進することにより、区民から信頼される区役所づくりをめざす。

なお、各経営課題における具体的取組については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら進めていく。

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題	戦略	具体的取組【令和2年度】	区政会議 各部会	
子どもが育つ環境の 充実	子どもの「育ち」を支援	プレーパーク事業	教育部会	
		こども食堂支援事業		
		障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業		
	子どもの「学び」を支援	西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)		
		基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)		
		西成区こども生活・まなびサポート事業		
にぎわいとコミュニ ティが生まれるまち づくり	地域資源を活かした新たなにぎわいづく りと活性化	地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業	西成特区構想部会	
		新今宮エリアブランド向上事業	西成特区構想部会 情報発信部会	
		西成区魅力発信事業		
	地域活動の支援強化	地域コミュニティ支援事業	情報発信部会	
		緑化推進事業		
	地域でのつながりづくり・福祉によるまち づくり	地域でのつながりづくり・福祉によるまち づくり	西成版サービスハブ構築・運営事業	西成特区構想部会
			西成区地域福祉計画推進事業	
			地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	
			単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業	
	人権尊重のまちづくり	人権尊重のまちづくり	情報発信部会	
防災・防犯・安全対 策	コミュニティ防災力の強化	地域防災活動事業－地区防災計画を活用した地域防災力の向上－		
		地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－		
	防犯・安全対策の推進	防犯対策事業 自転車等安全利用啓発事業		
空家等対策の推進	空家等対策推進事業	西成特区構想部会		
あいりん地域対策	あいりん地域環境対策		不法投棄対策	
			迷惑駐輪対策	
	あいりん地域を中心とした結核対策		結核患者の早期発見・早期治療	
		結核患者の支援の充実		

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業

30決算額	—	元予算額	14,263千円	2予算額	17,977千円
-------	---	------	----------	------	----------

目標	目標値
本事業の参加者へのアンケートで、西成区に魅力を感じたと答えた割合	70%以上

今年度の取組内容

新今宮駅前エリア内において、来訪者をはじめ多くの区民・市民が回遊し、にぎわいが創出できるよう、企業等と連携し、アンテナショップやまち歩きなどの手法を用いた仕掛けづくりを行うとともに、空き店舗等の改修費用についての一部補助制度を実施する。(補助件数2件)

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化
新今宮エリアブランド向上事業

30決算額	—	元予算額	—	2予算額	8,990千円
-------	---	------	---	------	---------

目標	目標値
新今宮エリアのブランドイメージ向上に繋がる歴史・文化・賑わいなど観光の魅力を5つ以上紹介する民間の情報誌又はWEBページ等の掲載件数	3件以上
・宿泊者、来街者へのアンケート、SNS上の口コミ分析により「新今宮エリアの良いイメージ」を回答・発信する割合	75%以上

今年度の取組内容

- 大阪ミナミの活性化をめざす鉄道事業者や宿泊事業者との連携のもと、大阪ミナミの新たな玄関口として「新今宮エリア」の歴史・文化・にぎわい等の魅力を発信し、「新今宮エリア」のブランディングを図る。
- 西成区・浪速区・経済戦略局の3局区が民間事業者と連携し、テストマーケティングなどを実施しながら、エリアブランド確立に向けたターゲット設定や資源の選定など、エリアの魅力を効果的に発信するためのプロモーション戦略を検討・策定
- 発信ツールの準備

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化
西成区魅力発信事業

30決算額	1,202千円	元予算額	1,731千円	2予算額	3,160千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると感じた割合	50%以上

今年度の取組内容

来訪者に区内を周遊してもらえるよう、また、まちの魅力が十分に伝わっていない状況にあるため、区民に魅力を再認識してもらえるよう、マップやSNS等の様々な媒体を活用して、西成区の魅力積極的に発信していく。

- ・観光マップ(改訂版)の作成
- ・SNS発信回数 12回以上
- ・区内小中学校にて、大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業の実施
(中学校:3校、小学校:5校)

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

西成版サービスハブ構築・運営事業

30決算額	—	元予算額	19,256千円	2予算額	24,296千円
-------	---	------	----------	------	----------

目標	目標値
課題解決に向けた具体的事例の検討件数	100件

今年度の取組内容

- ・生活困窮者等が気軽に立ち寄ることができる場所を設置し、そこを居場所として提供(260日)するとともに、地域の福祉サービス提供者等と連携し、さらなる居場所を開拓していくことにより、支援へとつなげる。
- ・また、就労、福祉などの分野を超えて、困難な事例の解決を図ることができる支援員を配置(260日)して、生活訓練から就労支援まで、個々人に応じたマッチングを図ることなどにより、抱える課題の解決を図り、各々に応じた自立をめざしていく。
- ・さらに、日雇労働市場や地域の膨大な福祉需要等を地域の資源として活用して、(中間)就労やボランティア先等の開拓などを行い、支援の出口そのものを広げることにより、社会参加を促していく。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

西成区地域福祉計画推進事業

30決算額	—	元予算額	1,089千円	2予算額	846千円
-------	---	------	---------	------	-------

目標	目標値
推進チーム会議や各分野別検討会議等を定期開催し、3年間で取り組むべき地域福祉計画の4つの重点項目を中心に、令和2年度に取り組むべき項目を選定し、取組項目の達成度A(順調である)の割合	50%以上

今年度の取組内容

令和元年度から令和3年度までの3年間で取り組む西成区地域福祉計画に基づき、地域住民・区役所・区社会福祉協議会・社会福祉施設などで構成された推進チームや推進会議、高齢者、障がい者、子育て等の分野別検討会議等の開催を行うとともに、地域ネットワーク委員など地域活動の担い手の発掘・育成のため、地域での成功事例の共有や新たなつながりづくり、区民フォーラム開催などを通じて地域福祉を推進する。

地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

30決算額	28,689千円	元予算額	28,287千円	2予算額	30,294千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	60%以上

今年度の取組内容

区社会福祉協議会に「見守り相談室」を設置し、以下3つの機能を一体的に実施し、また、見守りフォーラムを開催(1回)するなど啓発活動を実施することにより、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を図る。

- ①要援護者名簿(愛称「西成つながり名簿」)の地域への提供に係る同意確認・名簿整備
- ②見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- ③認知症高齢者見守りネットワークによる認知症高齢者の行方不明時の保護強化(事前登録及び発見協力者登録の推進)

※事前登録

認知症高齢者の行方不明時に協力者へのメールまたはファックス送信により早期発見につなげるため、写真や身体的特徴などを事前に登録する。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業

30決算額

12,822千円

元予算額

12,881千円

2予算額

10,403千円

目標

目標値

「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合

70%以上

今年度の取組内容

社会的つながりがない、又はほとんどない単身高齢生活保護受給者等に対して、社会参加に向けた支援や基礎的な生活の支援を行うとともに、日中の居場所を提供する。(260日以上)

不法投棄対策

30決算額	141,617千円	元予算額	147,066千円	2予算額	110,997千円
-------	-----------	------	-----------	------	-----------

目標	目標値
令和2年度の不法投棄ごみ量(収集量)	前年度より減少させる

今年度の取組内容

- ・地域内における不法投棄を防止するための巡回活動を実施する。(年間364日)
- ・公園に設置した美化啓発拠点に持ち込まれる、家庭ごみを適正に処理するとともに、地域住民に対し家庭ごみの排出ルールの啓発を行う。(年間364日)

迷惑駐輪対策

目標	目標値
地域内の路上駐輪台数	2,000台以下

今年度の取組内容

- ・地域内に設置した、自転車置場の適切な管理、利用促進を図る。
- ・建設局と連携した対策を実施し、迷惑駐輪による交通障害の解消を図る。
- ・新たな対策の検討に向けた、実態調査を実施する。

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

結核患者の早期発見・早期治療

30決算額	17,750千円	元予算額	20,900千円	2予算額	20,454千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
あいりん地域の結核患者のうち、西成区実施の健診によって発見された方の割合	25%以上

今年度の取組内容

- ・あいりん地域内の患者発生アパートにおいて個別受診勧奨を実施することによりハイリスク健診を強化する。
- ・あいりん地域内健診を月3回以上実施し、関係機関と連携して受診の徹底をはかる。
- ・あいりん地域住民に対して、生活保護担当者や介護支援者等と連携して定期受診を勧奨する。

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

結核患者の支援の充実

30決算額

29,755千円

元予算額

34,168千円

2予算額

34,491千円

目標	目標値
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下

今年度の取組内容

- ・あいりんDOTS(肺結核患者に対する服薬支援)を、患者の状況に応じて選択できるよう拠点型・訪問型を一体的に実施し、より確実な服薬支援を実施する。
- ・居所がない患者に対して、治療期間に限りあいりん地域内で居所を提供し、あいりんDOTSの実施により治療中断を防ぐ。
- ・あいりんDOTS実施者を対象とした「DOTS実施者のつどい」を月1回開催する。
- ・あいりん地域以外の患者に対して、リスクアセスメントを実施したうえで適切な服薬支援を選択して治療完了へ導く。